

「『パース日本祭り』に播磨の黒田武士顕彰会が登場！」

～西オーストラリア州兵庫文化交流センターからの報告～

西オーストラリア州の住民に日本文化に触れてもらおうと、現地の日本人会（政府機関・学校・企業等）が毎年主催する『パース日本祭り』がこの2月27日に開催され、約2万人の日本ファンが会場を訪れました。

今年は、県と西オーストラリア州との姉妹提携締結35年目を迎える節目の年。パース日本祭りも「兵庫県－西オーストラリア州姉妹提携35周年記念」と銘打って実施されました。当センターの働きかけで、姫路の「播磨の黒田武士顕彰会」（会長：神澤輝和氏）の9名を外務省の補助金を活用して招致しました。

当日は、晴天に恵まれ気温も40℃近くまで上がる中、会場を埋め尽くす観客を前にメンバーがステージ上で20分の演舞を2回披露しました。

また、会場内で観光などのPRを実施する当センターのブース前で甲冑武者が来場者との記念撮影に応じるなど、獅子奮迅の活躍を見せました。



屋外ステージで満場の観客を前にパフォーマンス



生徒を前に演舞を披露

また、日本祭り前日の26日には、当センターにパース市近郊の4つの中高校から約100人が集まりました。大西センター長による「サムライ文化の実像」と題したレクチャーや黒田武士顕彰会メンバーによる演舞鑑賞、甲冑の着付け体験が行われた後、「顕彰会」のメンバーと「炭坑節」を一緒に踊り交流を深めました。

夕刻の「パース日本祭り前夜祭」では、西豪州政府、パース市、在パース日本企業、日本と関係を持つ豪州企業などの幹部約250人が集まる場で演舞を披露、あわせて姫路の観光PRも行いました。



甲冑を試着した子供たちとポーズ

今後も当センターでは、様々な機関と連携して伝統ある日本文化や県の紹介を行うとともに、更なる草の根レベルの交流の促進を図ることとしています。

※ 詳細についてのお問い合わせは

(公財)兵庫県国際交流協会 企画広報課 TEL 078-230-3267

交流・協力課 TEL 078-230-3090